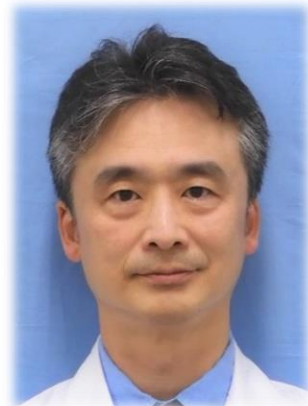


地域連携通信

2024.07

 地域医療連携センター
 TEL 052-851-5511(代表)
 TEL 052-858-7131(直通)

地域連携を円滑に進めるための垂直方向の規範的統合

 みやざき けい
総合診療医学・総合内科学 教授 宮崎 景


みなさまこんにちは。2023年8月より総合診療科・総合内科部長に着任しました宮崎景と申します。

大学の総合診療科・総合内科部長として今後皆様と連携をしていくにあたり、診療所から大学病院まで勤務した経験を踏まえ、医療連携がなぜ難しいかについて、社会学や組織学の分野で使用される「規範的統合(Normative Integration)」という概念を用いて私見を述べさせていただきます。

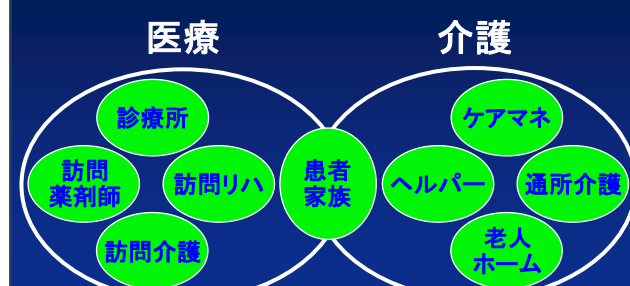
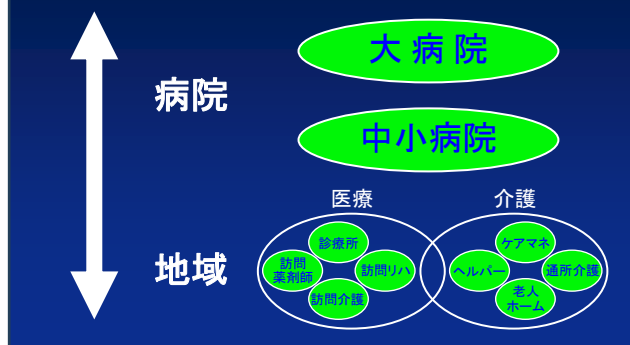
規範的統合とは、社会や組織のメンバーが共通の価値観や規範(ルール、期待など)を共有することで、全体としての調和を保つことを指します。医療、介護の世界でも、地域包括ケアシステムを構築するためのキーワードとして目にされた方もいらっしゃるかと思います。

地域連携において、垂直方向の規範的統合が難しいということ、以下の症例を用いて説明します。脳梗塞を患いご家族の介護のもと在宅診療、訪問看護など様々な職種が関わりながら(図1)なんとか在宅療養をされているAさんが、軽症の肺炎になったとします。訪問診療の主治医が緊急往診をして、軽症の肺炎であると判断し、内服治療で在宅療養が可能であると一旦判断します。ご家族は肺炎によるADLの低下によりトイレに安全に連れて行くことに不安を感じていますが、担当の訪問看護師はオムツを一時的に使用すれば大丈夫であると意見を述べます。ところが本人は、おむつは絶対嫌だと言い、ケアマネージャーは、もともと本人の介護で家族は限界を迎えつつあり、介護プランを根本的に見直す必要があると訴えます。主治医は本人も含め、関係者と協議し、肺炎としては軽症であるが、入院加療をして、その間に介護プランを仕切り直すのが得策であると判断しました(水平方向の規範的統合)。地域で本人を取り巻く多職種は、日頃から直接顔を合わせており、健康観、価値観のすり合わせが比較的容易です。

主治医は紹介状を書き、病院の救急外来に電話します。対応した研修医に事情を説明しました。結果はどうなったでしょう？軽症の肺炎であるため、入院適応は満たさないと入院担当の専門医に判断され、救急外来で抗生剤の点滴を受けて自宅へ帰宅となりました。医学的には妥当な判断であり、大きな病院であればあるほどそのような判断がされるでしょう。

視点を変えてみると、これは図2での垂直方向の規範的統合がうまくいかなかったと説明されます。すなわち大病院における生物医学的モデルに基づいた急性期医療の展開、医療資源の適正配分などの価値観に基づく判断と、在宅医が患者の健康観や地域での価値観に基づいて判断したことが、うまく擦り合わせられなかったと言えます。このような行き違いを減らすためには、日頃から学習会などで顔を合わせたり、紹介状だけではなく、可能な範囲で直接コミュニケーションをとる努力が望まれます。このケースでは、大病院に軽症の肺炎を入院させることが最適解と言っているわけではなく、直接コミュニケーションを取っていれば、最適な落としどころ、例えばより近隣の小病院での入院など手配できたかもしれません。

このように、地域連携においては、水平方向と比較して、垂直方向の規範的統合は難しく、ダイレクトなコミュニケーションを図る努力がより求められると言えます。

図1 水平方向の規範的統合～地域

図2 垂直方向の規範的統合～病院と地域


総合診療科・総合内科より地域医療機関の先生方へ

貴院を受診された患者様のご紹介につきましては、どの**専門診療科へ紹介して頂くのか**明らかで無い場合には、「**総合診療科・総合内科**」へご紹介下さい。

(令和6年4月1日より、限定的ではありますが主科担当の入院診療を再開しています。事前紹介予約も受け付けています。)

火曜日～金曜日には、総合診療科・総合内科の常勤または非常勤医師が常設外来を担当しており、月曜日は時間外対応の形で当科の医師が対応いたします。緊急時など、電話での相談が必要な場合には、当院代表電話から「**総合診療科・総合内科の医師**」をご指定頂いてご連絡下さいますようお願い申し上げます。

なお、各専門診療科での診療が明らかに必要と考えられる場合には、**直接紹介患様を担当科**へご紹介頂きますようお願い申し上げます。

■ 外来担当医師一覧

月	火	水	木	金
非常勤医師など	宮崎 景	非常勤医師など	非常勤医師など	兼松 孝好

<総合診療科・総合内科HP>

<https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/section/department/sogonaika/>



<総合診療医学・総合内科学HP>

<https://www.nagoyacu-soushin.jp/>



桜山地域医療連携勉強会のご案内

本年度、以下の勉強会を予定しております。ぜひご計画ください。

	開催日時	演題・講師	申し込み
第2回	2024年8月22日(木) 19:30~20:30	演題：増え続けるCKD -新薬で画期的に変わった透析予防- 講師：腎臓内科 教授 濱野 高行	受付中
第3回	2024年9月19日(木) 19:30~20:30	演題：災害時のDMATの役割 講師：災害医療センター長 山岸 庸太	受付中
第4回	2024年10月31日(木) 19:30~20:30	演題：リンパ浮腫の外科的治療 (仮) 講師：形成外科 助教 中村 亮太	
第5回	2024年12月12日(木) 19:30~20:30	演題：未定 講師：乳腺外科 講師 藤田 崇史	
第6回	2025年2月6日(木) 19:30~20:30	演題：名古屋市立大学のロボット手術が魅せる新たながん治療 (仮) 講師：消化器・一般外科	

受付中の勉強会の詳細につきましては、勉強会HPをご覧ください。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

勉強会HP : <https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/for-medical/benkyokai-050929/>

